今月のキーワード

生物多様性

生き物が次々に絶滅しているってホント？

- 1/4の生き物が絶滅の危機
- その最大の原因は人間の活動
- くらしの中で私たちができること

漫画／小犬丸伸子

地球上にはバラエティーに富んだ生き物がいて互いにつながりあい、バランスを取りながら生きています。その複雑で豊かな状態を、「生物多様性」といいます。

生物多様性保全はなぜ必要？

現在、地球上には3千万種もの生き物が、生きているといわれます。それらが食べる、食べられる、助け合う、すみ分けるなど、いろいろな関係で複雑につながりあっています。

そして人は、さまざまな生き物がくらす生態系から、多くの恩恵を受けています。衣食住にかかわるものはもちろん、きれいな水や空気も、植物や微生物によって作り出されるもの。人が生きるためには、生物多様性は不可欠です。

生き物、大量絶滅の時代

その大切な生物多様性が、ここ数百年で大量に失われています。生き物の大量絶滅は恐竜の絶滅など、これまでにもありました。しかし、今回の危機は人の活動（開発や乱獲、里山の荒廃、外来種の影響、地球温暖化など）が原因であること。そして、絶滅の速度が異常に速いのが特徴です。今や地球上の生き物の1/4が、絶滅の危機にあるといわれます。

ある生き物の消滅は、ほかの生き物や環境に深く影響します。たとえば、「ニホンオオカミの絶滅→シカが増える→木の芽を食い荒らす→木が枯れて山崩れが増える」というように。つまり、生物多様性の危機は、人の生存の危機にもつながりかねないのです。

生物多様性保全への第一歩を

人がもたらした危機なら、多様な生き物がくらせる環境を取り戻すことは人類全体の責任です。

生物多様性条約の締結など世界的な取り組みがすすんでいますが、くらしの中でもできることはたくさんあります。環境に配慮した商品を選ぶ、身近な自然に関心をもつなど、豊かな環境を取り戻すためにできることを考えてみませんか。

生物多様性を守ること＝環境を守ること

くらしの中でできることは…

- 農薬や化学肥料の使用を減らし、環境に負荷をかけない農法で作られた農産物を購入して、産地の取り組みを応援する。
- リユースやリサイクル商品など、環境に配慮した商品を利用する。
- 資源やエネルギーのむだ遣いをしない。
- 身近な自然を知る。

注意してみると身のまわりにも、たくさんの生き物がくらしています。

パルシステム東京では…

「生きものモニタリング調査」「侵略的外来種の駆除活動」などを実施。

身近な蝶を報告する「生きモニ」活動

「いなぎめぐみの里山」では農業体験をしながら、里山の保全活動を

＊詳細はパルシステム東京ホームページ、週刊「WITH YOU」で

パルシステムはこんなところから

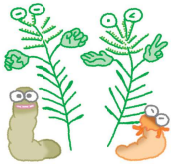
●公正な貿易、フェアトレードをすすめる

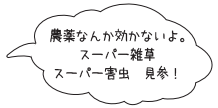
多様な生態系が残る開発途上国で、生産性の向上のため、大量の農薬散布や森林伐採などの環境破壊が起きています。自然環境に配慮し継続的な生産をめざし、生産者の生活を守るフェアトレードを応援しています。

環境に配慮したバナナを生産（フィリピン、ネグロス島）

●遺伝子組換え（GM）原料を避ける商品づくり

日本ではGM作物の栽培は許可されていませんが、世界では殺虫や除草作用のあるGM作物の栽培が拡大しています。その結果、農薬がきかない害虫や雑草が出現し、農薬の使用量が増加。また、GM作物との交雑で在来種が消滅するなど、生物多様性への深刻な影響が問題になっています。





●農薬削減をすすめる

農薬は基本的に、生き物を排除する薬剤です。パルシステムの産地では、できるだけ農薬の使用量を減らす農法を継続。各地でさまざまな生き物の復活が、報告されています。

田んぼで生き物観察（新潟県ささかみ）

取材は2017年5月19日現在

インフォメーション

3/30 第25回定例理事会開催

【議決事項】

●2017年度 各事業年間営業・供給日程の件

2017年度、各事業の年間営業・供給日程について議決しました。

●長期住所不明組合員の2016年度みなし自由脱退承認の件

定款に基づき、2017年3月31日付で長期（2年以上）にわたって住所不明で連絡がとれない組合員5,382名に対して、脱退処理を行うことを議決しました。

●役員報酬上限額決定の件

2017年の役員報酬上限額における理事分・監事分の配分について議決しました。

●第12期役員選挙に伴う全体区理事立候補者への理事会推薦議決の件

今年6月に開催する第25回通常総代会において「第12期（2017年通常総代会～2019年通常総代会）役員」の選挙を行うにあたり、理事会として推薦する9名の候補者を議決しました。

●2016年度決算に向けた方針及び剰余金処分案方針 決定の件

会計処理に向けた方針と、剰余金処分案の策定に向けた方針について議決しました。

●パルシステム生活協同組合連合会との「分担費等」決定の件

パルシステム東京及びグループ生協は、商品カタログ制作や商品の仕分け、請求処理などをパルシステム生活協同組合連合会（以下連合会）に委託し、その費用を分担して支払っています。2017年度の「分担費の料率等」の上限について、連合会と覚書を締結することを議決しました。

●2017年度損益予算案決定の件

第3回総代会議にて、理事会より総代へ提案する損益予算案について議決しました。

●「第25回通常総代会議案第二次案」の決定及び第3回総代会議召集の件

第3回総代会議の開催概要と、理事会が提案する「第25回通常総代会議案第二次案」について議決しました。

●足立センター内福祉棟計画承認の件

2016年12月、足立区の東京都認証保育所の公募に申し込み、当組合が選定されました。この結果を受け、足立センター敷地内での福祉棟計画について議決しました。開設する事業は、①東京都認証保育所（定員40名）②地域密着型デイサービス（定員18名）③地域交流スペース となります。

4/13～21 第3回総代会議を開催

6月13日に開催する、第25回通常総代会の議案書作成に向け、議案書に意見を反映する最後の会議、「第3回総代会議」が、5会場で開催されました。

2016年度の事業の進捗確認と経営状況の説明、2017年度以降の取り組むべき課題についての確認と提案など、活発な意見交換が行われました。

100%再生PETボトル水の取り扱いについては、1年半かけた審議結果が報告されました。

議案の説明をする辻専務理事（写真は4月20日新宿本部会場）

パルシステム東京 3月 data データ

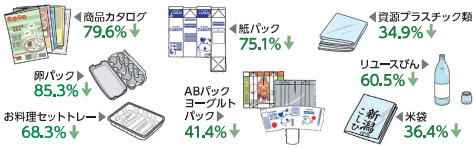
総事業高 66億3,586万円

組合員数：46万4,135人　予算比99.8%

予算未達成

リユース・リサイクル回収率

＊回収率は2016年4月～2017年3月の回収量／供給量

はじめませんか エコライフ！

＊詳しくはパルシステム東京ホームページから